

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見つけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

7月21日(土)

高校生がプロジェクトに挑戦!

高校生が企業や大学とかかわりながら地域に新たな価値を見出すプロジェクト「高校生Challenge&Creation」。そのキックオフ講座が曳山博物館伝承スタジオで行われました。

この日は36人の高校生が集まり、まちづくりに関わる人たちの講演などが行われました。

これから高校生たちは「まちなかスイーツプロジェクト」「本のまち・木之本ポスタープロジェクト」に挑戦します。



7月27日(金)

夜空を彩る1万発の花火

長浜夏の風物詩「長浜・北びわ湖大花火大会」が長浜港一帯で開催されました。

スターマインを中心に、芸術花火や音楽に合わせたミュージカル花火、ミュージックスターマインなど創意工夫を凝らした約1万発が打ち上げられました。

県内外から集まった約11万人はその迫力と美しさに酔いしれました。

7月29日(日)

楽しみながら医師体験を行いました

湖北医師会が主催する「医師体験ワークショップ」が長浜赤十字病院で行われました。

中学生、高校生が医師という職業に興味を持ってもらおうと開かれたものです。

医師の指導の下、救急救命や問診体験、切開・縫合体験などが行われました。医師たちのわかりやすい説明を受け、参加した人たちは楽しく体験することができました。



7月29日(日)

180年の伝統を肌で感じました

びわりゅうプラザでの富田人形夏公演が行われました。

公演の開会を告げる式三番叟のほか、3本の演目が演じられ、180年の歴史を持つ伝統を保存・伝承する富田人形共遊団のメンバーがその技を惜しげなく披露しました。

また共遊団で受け入れている留学生の2人の演技や、小学1年生から中学1年生のジュニアクラスの子どもの熱演に、会場から拍手が沸きあがりました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゅーす

8月4日(土)

元日本代表から指導を受けました

市民プールで「元日本代表 塩田義法しほたよしのりのアクアゲーム(水球)教室」が行われました。

日本代表で長年活躍した塩田氏が、子どもたちにドリブルやパス、シュートの技術を指導しました。

普段あまり水球に触れる機会のない子どもたちですが、わかりやすく楽しい指導を受け、元気よくボールを追いかけました。



8月4日(土)

浴衣姿の人たちで町がにぎわう

2年前から行われている長浜なつまつりで、「長浜総おどり」が行われました。

この日は市内の企業や団体合わせて、850人が参加。「長浜おどり」と「江州音頭」の二種類の踊りを披露しました。

参加者は心地よいリズムに合わせて御坊表参道を踊り歩きました。軽やかな踊りに沿道から手拍子が沸きあがりました。

8月4日(土)

ビオトープで楽しく自由研究

早崎ビオトープで水生生物の観察会が行われ、小学生や保護者などおよそ20人が参加しました。

この観察会は、子どもたちの夏休みの自由研究の参考になるように、早崎内湖再生保全協議会が中心となって毎年開いており、ビオトープで採取した水生生物の調査、観察を行っています。

子どもたちは、捕獲された様々な生き物についてスタッフから説明を受け、琵琶湖の生態系について理解を深めました。



8月6日(月)

活動の成果を披露しました

市内の小学校3年から6年生からなる水生生物少年少女調査隊「みずすまし」の今年度の発表会が湖北文化ホールで行われました。

今年度は市内26校516人の隊員が小学校区ごとに河川の水生生物の調査を行いました。

この日は水生生物調査の発表のほか、隊員の自己紹介や抱負なども行われ、学校の枠組みを超えた交流が行われました。